

Step3 胆 囊

▶動画 22

(時間：59秒)

描出する臓器 胆 囊

メルクマール 肝外門脈, 総胆管

Point 胆嚢管をゆっくり追従し, 胆嚢を描出しましょう。胆嚢は可能なかぎり底部まで観察を心がけましょう。

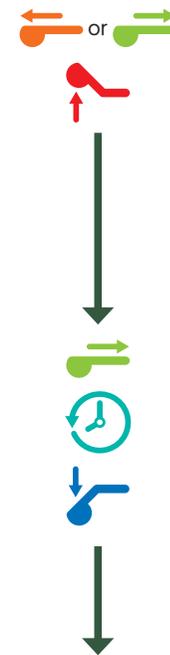
1 総胆管を反時計回り, ダウンアングルおよび PUSH 操作で乳頭部から肝門側へ追従します (26 頁 Step2 参照)。その際に総胆管にらせん状の細い管が流入するのが観察されます。これが胆嚢管です (写真 35)。



2 胆嚢管を PUSH や PULL 操作で画面の 5～7 時の間に調整し (写真 36), 反時計回りに回旋しながら追従していくと胆嚢頸部が描出されます (写真 37)。



3 次に胆嚢底部まで観察します。まず, PUSH や PULL 操作, ダウンアングルを用いて胆嚢を画面右上に位置させます。そこでスコープの PULL 操作をしながら, 反時計回り, ならびにアップアングルを併用して胆嚢を画面右上に保持し, 胆嚢頸部～体部 (写真 38)～底部 (写真 39) の順で描出していきます。



トラブルシューティング

胆嚢管・胆嚢の描出が不十分なとき

● 胆嚢管の描出

34 頁 Step3 の 2 のスコープ操作は多くは反時計回りですが, 胆嚢管の走行, 胆嚢の位置によって操作が異なる場合もあります。そのため, 反時計回りだけでなく時計回りも含めた回旋操作を使い追従することも必要です。

● 胆嚢の観察

▶動画 23

(時間：40秒)

画面左上に胆嚢頸部が描出されるときは, PUSH 操作とダウンアングルで胆嚢頸部を画面右上に位置させるのが理想ですが, できないときもあります。その際は画面左上に胆嚢を位置したまま, PUSH 操作, ダウンアングルならびに反時計回りで胆嚢全体の観察をします (写真 40, 41)。しかし, 胆嚢底部までの観察は困難な場合があることを覚えておきましょう。

